

第1章 島原市水道ビジョンの改訂にあたって

1-1 改訂の主旨

平成16年6月、厚生労働省は「水道ビジョン」を策定し、今後の水道に関する重点的な政策課題と具体的な施策およびその方策、工程などを示しました。さらに、平成17年10月には、各水道事業者に対して自らの事業を取り巻く環境を総合的に分析した上で地域特性にあった経営戦略を立て、それを計画的に実行していくための「地域水道ビジョン」の策定を推奨してきました。

平成20年3月、島原市水道局は、合併後の合理的な水道事業統合のあり方を、将来的な需要の見通しから水道施設の計画規模の検討を行い、広域的な視点から個々の水道事業が抱える課題に対する解決策を「島原市水道事業基本計画」（以下「既基本計画」と記す）として策定し、「島原市水道ビジョン」にとりまとめました。

この「島原市水道ビジョン」は、「豊かな自然に育まれた水緑のまち しまばら ～安全でおいしい水をいつまでも～」を将来像に掲げ、選択と集中の視点から、まず、島原市有明町の3簡易水道事業の統合整備を平成21年度から実施しています。

島原市有明町の主要な施設整備が平成25年度に完了する目処がたったことから、島原市の水道事業と既基本計画では扱っていない民営水道との施設統合を念頭に、最新の実績から将来需要を見直し、合理的な施設整備のあり方を再検討し、基本計画を見直しました。また、基本計画の見直しに伴い、「島原市水道ビジョン」をフォローアップし、既基本計画の進捗状況と、今後、島原市の水道事業が進むべき方向を明らかにします。



上の原水源地

1-2 位置付け

平成20年3月、島原市水道局は、厚生労働省が示した水道ビジョンの5つの主要な政策課題（「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」）を踏まえ、今世紀半ば頃までの水道事業の運営に関する長期的な方向性と、平成29年度までの当面10年間の課題解決に効果的な具体策を「島原市水道ビジョン」にとりまとめています。

平成22年3月、島原市は、旧島原市と有明町との合併以前に策定した「市町村建設計画」の将来像である「有明海に開く湧水あふれる火山と歴史の田園都市 島原」を念頭に、「市勢振興計画（第6次）」を策定しています。この市勢振興計画では、5つの都市づくりビジョンと3つの行動方針を明らかにし、中・長期的な施策の方向性と当面10年間の主要な施策と数値目標を具体的に示しています。

このような背景から「島原市水道ビジョン」は、市勢振興計画の目標達成と持続可能な水道事業の運営を念頭に、長期的な方向性と平成34年度までの当面10年間の課題抽出と、その解決に効果的な具体策を見直します。

「島原市水道ビジョン」の改訂にあたっては、地域固有の背景や事情、水道事業の特性に留意し、住民の理解と合意が得られる水道事業を目指し、今後、取り組んでいく具体的な内容を明らかにします。なお、取り組んでいく各種計画は、事業効率化や財政状況を念頭に、合理的な工程とその実施を目指していきます。

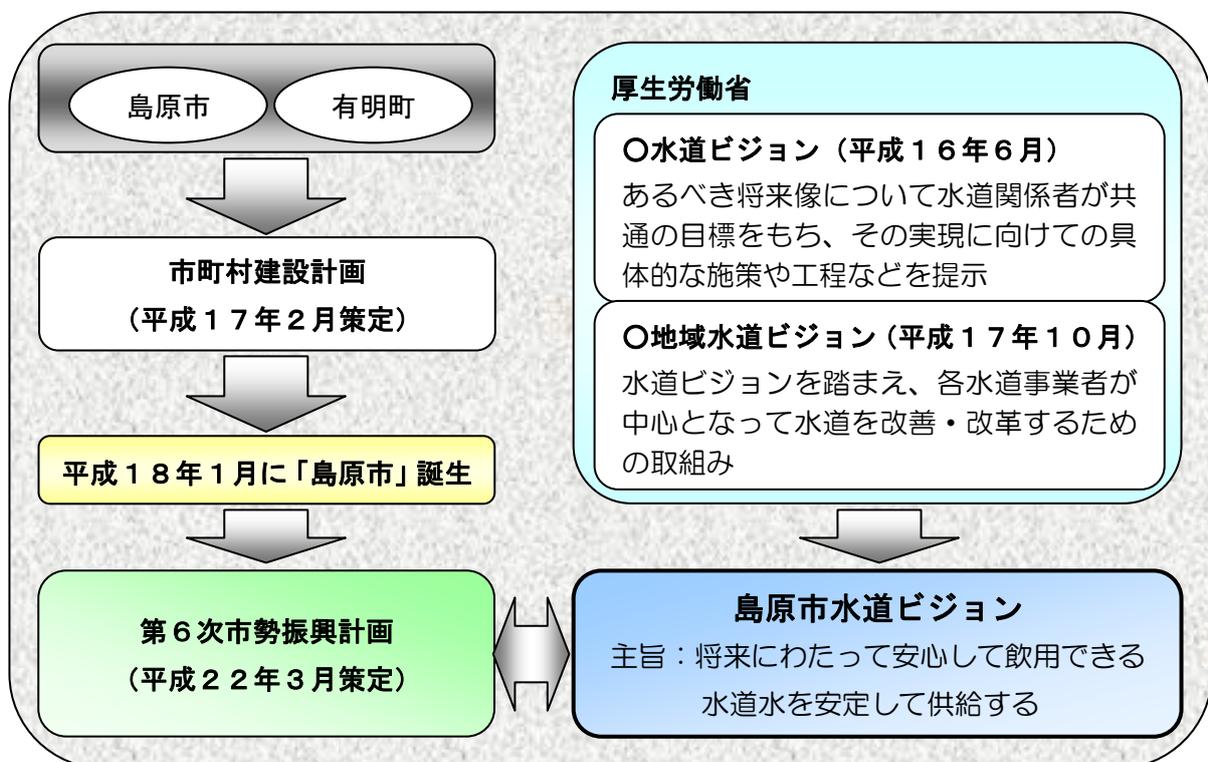


図 1.1 島原市水道ビジョンの背景と位置付け